

吉野工芸の里 活性化へ

関西学院大学白山麓実習チーム

トリックアートで回遊性

親子らクイズ解きながらジオ学ぶ

関西学院大学総合政 策学部の白山麓実習チ ーム(佐山ゼミ)は23 日、白山市内の吉野工 芸の里で、白山手取川



トリックアートクイズに挑戦する参加者

ジオパークをテーマに したトリックアートの クイズを解くオリエン テーリングを開催し た。地元の親子約15人 がゲームを楽しみなが ら白山の自然や歴史を 学んだ。

同実習は、白山麓で 地域の活性化を学ぼう と、佐山浩教授のゼミ が毎年開いており、今 年で10年目を迎えた。 一昨年には、20年間に 止まっていた水車小屋を 修復し、新たに取り付 けた発電機は、裏山に 生息するイノシシなど 害獣の侵入を防ぐセン サーなどに電力を供給 しているという。

今年の実習生6人が 水車小屋の活用策を模 索する中、白山の自然 に関連したトリックア

ートを用いたクイズ形 式のオリエンテーリン グを企画。園内の芝生 広場には金属やガラ ス、石などで作った多 数の工芸作家の作品が 展示されており、それ らとともに施設の回遊 性向上につなげる。

イベントでは、参加 者が施設内6カ所に設 置されたトリックアア ートを探し、クイズに挑 戦。子どもたちは実習 生が考えた「イワナ」 や「イヌワシ」などを 題材にした問題を真剣 に解いていた。キーワ ードを集め、ゴールの 水車小屋に辿り着く と、子どもたちはクイ ズカードにスタンプを 押し、嬉しそうにカー ドを完成させた。

その後、参加者はジ オパークに関連した消 しゴムハンコを使っ

て、自分たちでトリッ クアートを制作。彫刻 刀で思い思いのハンコ をつくるなどして、楽 しい時間を過ごした。

イベントを発案した 実習生の赤尾奈美さん (4回生)は、「10年 目の節目の年、水車小 屋を使って施設の認知 度を高める何かインパ クトのあるものをと考 えた。子どもたちが喜 んでくれて、意外と白 山のジオを知っていた のには驚き。先輩方が 築き上げてきた地元と の信頼関係をこれから も大事にしていきたく い」と話してくれた。

イベントは白山手取 川ジオパーク推進協 会、吉野工芸の里、金 沢庭材、クロスクリエ イティブコア、市民団 体ツナグ白山麓などが 支援した。